# 障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

### 【基本情報】

フリガナ	<u>&gt;ャክ47/ን&gt;ホウジ '&gt;キボ 'ウガ' オカ</u>			
法人名	社会福祉法人希望が丘			
フリガナ	プラグ・アシェンセンターキボ ウガ・オカ			
事業所名	相談支援センター希望が丘			
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)				
計画相談支援				
職員数(常勤換算数) 【「全職員の月間勤務時間数」/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育休、休職は除く)】				
1.2人				
ICT機器等導入完了日	令和7年1月21日			

### ※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
職員間の情報伝達・情報共有	③ICT機器等を導入している(多くの事務作業が電子化されている)
請求業務	
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
給与業務	

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。
- ①ICT機器等を導入していない (紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

### (2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
③タブレット		surface • surfaceGo	2 台	

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
  - ・情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
  - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
  - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化 (職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

- (3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況
- ① ICT機器等導入前の業務時間内訳

② 1011級報子等人的の未扱	1	9% /4- //	4- *h			1人あたり	
	Alle 74 (1) == 1, 1/1	発生件数		C. 1件当たりの	年間業務時間		/# +/
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間	D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)	1 370 = 3110	- (/	(D/業務従事者数)	
①支援記録の作成	2 人	20 件	240 件	60 分	240 時間	120 時間	
⑦その他	2 人	19 件	228 件	150 分	570 時間	285 時間	サービス等利用計画作成
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		39 件	468 件	210 分	810 時間	#DIV/0!	

<sup>※「</sup>具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

半年間の発生件数を平均し、ひ	∖と月あたりの発生件数とした
----------------	----------------

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

一カ月間の平均処理時間から1件当たりの平均処理時間を算出した。

#### ② ICT機器等導入後の業務時間内訳

9 10 1 MARK 0 497 (KK 17 MCL) MC							
		発生件数		C. 1件当たりの	年間業務時間	1人あたり	
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間	D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)	1 -020-22-0140	5 (5 10)	(D/業務従事者数)	
①支援記録の作成	2 人	20 件	240 件	60 分	240 時間	120 時間	
⑦その他	2 人	19 件	228 件	100 分	380 時間	190 時間	サービス等利用計画作成
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
			0 件		0 時間		
		39 件	468 件	160 分	620 時間	#DIV/0!	

<sup>※「</sup>具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

半年間の発生件数を平均し、ひと月当たりの発生件数とした。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

任意の1カ月間の平均処理時間から1件当たりの処理時間を算出した。

# 年間業務時間数削減率(%)

23.5%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

# ③ ICT機器等導入前の作成文書量

● 101版報号等人前の下版文音重					
	作成文書量				
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)			
計画相談書類	190 ページ	2,280 ページ			
支援経過記録	40 ページ	480 ページ			
		0 ページ			
	230 ページ	2,760 ページ			

### ④ ICT機器等導入後の作成文書量

O 120 AM - 3 - 7 - 120 - 11 - 7 - 7 - 120 -				
	作成文書量			
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)		
計画相談書類	190 ページ	2,280 ページ		
支援経過記録	0 ページ	0 ページ		
		0 ページ		
	190 ページ	2,280 ページ		

# 年間作成文書量削減率(%)

17.4%

- (4) ICT機器等の導入効果
- ① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

各自がスマートフォンとタブレットを持つことにより、訪問予定の共有やクライエントの支援経過記録の共有が常時できるようになった。支援経過記録は紙での保存を廃止し、全てパソコン内で 保存し、いつでもタブレットで見ることができ、情報共有がスムーズになった。

クライエントに情報提供する際にパンフレットを集めたりしていたが、タブレットでサイトを案内したり、事業所一覧を見ながら事業所を選んだりできるようになった。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。 また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)	
情報端末導入による効果	<b>ソフトウェア導入による</b> 効果
1 支援記録の作成に要する時間が減った。	
☑ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
□ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。	□ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☑ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	□ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通費で行えるようになった。
□ 5 その他の効果があった。	□ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通費で行えるようになった。
□ 6 効果がなかった。	□ 6 その他の効果があった。
	7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。	※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。
③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況	
今までは紙に手書きでメモを取り、事業所に戻ってからパソコン入力し、計画を作成して	こいたが、支援経過記録を面談先で作成したり、サービス等利用計画をクライエントと一緒に作成したりで
きるようになり、業務にかかる時間を短縮することができている。	
※ICT機能での道子にトロービのトンな要数功差があましてのトンな要数対象	化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、
実施のではいる。このような未然以告ができ、このような未然効率を 具体的に記載してください。	10か凶りれたのか、また、戦員の未務員担牲派にとめよりな別未がありためか、
共体的に記載してくたさい。	
④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法	
より丁寧にアセスメントやモニタリングの時間をとり、利用者様や保護者様と関わり、話	
より」学にアセスメンドドとニメリングの時間をとり、利用有様で休護有様と関わり、語	:を向く時間を指すすことができている。
L ※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、	- 他のどのとうな業務に活用できたかなど。目体的に記載してください。
※IOI I I I I I I I I I I I I I I I I I I	、他のとのような未動に四角できたがなど、共体的に心転してください。
(5) ICT機器等の導入による費用面での効果	
ICT機器等の導入による費用の縮減 無	
に「仮始すり等人による負用の相談	
※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答を	お願いします。
縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	
ク とハの食の同工に派る状態 (の九日 (A Z)	
(※1) 「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載して	
<ul><li>(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に</li></ul>	